学校番号	T3029

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	国語表現	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書	「国語表現」　（大修館書店）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書き方、聞き方、話し方等の国語による表現力を育成することを目標とするため、言語活動も行います。
・視写、聴写、メモ等の書き取り、発声法、朗読、話法等、実践的表現能力の育成に取り組みます。
・レポート課題や発表課題等、様々な形の課題が出されます。毎回の授業に出席し、しっかりと取り組んでください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
　実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
　論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の内容

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	言葉と出会う ［教材］ 言葉と表現 整った文を書く 相手に応じた言葉遣い 分かりやすい文を書く 文のつなぎ方	a：話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けることができる。 b:読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり，読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすることができる。 c:読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり，読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	レポート グループワーク
	伝える、伝え合う ［教材］ 自己紹介ゲーム 言葉のストレッチ体操 絵や写真を見て書く マイニュース記事を書こう	a：言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解することができる。 b:読み手の共感が得られるよう、適切な擬態例を効果的に配置するなど、表現の仕方を工夫することできる。 c：読み手の共感が得られるよう、適切な擬態例を効果的に配置するなど、表現の仕方を工夫している。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	レポート グループワーク 発表
	小論文・レポート入門 ［教材］ 小論文とは何か 反論を想定して書く 文章を読み取って書く 統計資料を読み取って書く 発想を広げて書く レポートを書く 論文を書くために	a:実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めることができる。 b：読み手の同意が得られるよう、適切な根拠を効果的に用いるとともに、反論などを想定して論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫することができる。 c：読み手の同意が得られるよう、適切な根拠を効果的に用いるとともに、反論などを想定して論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫している。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	レポート
	自己 PR と面接 ［教材］ 自分を見つめて 効果的な自己 PR 将来の自分を考えよう 志望理由を書こう 自己推薦書や学習計画書を書く 面接にチャレンジ グループディスカッションをしよう	a:話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けることができる。 b：自分の思いが伝わるよう、具体例を効果的に配置するなど、話の構成や展開を工夫することができる。 c：自分の思いが伝わるよう、具体例を効果的に配置するなど、話の構成や展開を工夫している。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	レポート グループワーク 発表
	メディアを駆使する ［教材］ 通信文を書き分ける 電話を使いこなす 電子メールを活用しよう	a：：実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めることができる。 b:自分の考えを明確にし、根拠となる情報を基に的確に説明するなど、表現の仕方を工夫することができる。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	レポート グループ

	ネット社会との付き合い方 ネットを活用した情報収集 メディアと情報	c：自分の考えを明確にし、根拠となる情報を基に的確に説明するなど、表現の仕方を工夫している。			ワーク 発表
後期	会話・議論・発表 ［教材］ 相手や場面に応じた会話 建設的な議論の進め方 スピーチをしよう プレゼンテーションの工夫	a：話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けることができる。 b：相手の反応に応じて言葉を選んだり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫することができる。 c：相手の反応に応じて言葉を選んだり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	レポート グループ ワーク 発表
	言葉で遊ぶ ［教材］ 回文・折句 クロスワードパズル・しりとり 伝統的な日本語の言葉遊び	a：自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増やし、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 b：自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするなど、表現の仕方を工夫することができる。 c：自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするなど、表現の仕方を工夫している。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	レポート グループ ワーク
	日常生活の正しい過ごし方 ［教材］ ユーモアトリセツを書こう 目玉焼きの正しい食べ方	a：言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解することができる。 b：目的や場に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができる。 c：目的や場に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	レポート 発表
	ポスター・パンフレットを作ろう ［教材］ 魅力的なポスターを作ろう 「わが町自慢」のパンフレット作り	a：言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解することができる。 b：目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組合せなどを工夫して、伝えたいことを明確にすることができる。 c：目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組合せなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	レポート
	エッセイを書こう ［教材］ 名の世界 楽しい時間は消えてしまう 結局、自分で考える 灰になれ 夕陽の輝き	a：自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増やし、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 b：自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするなど、表現の仕方を工夫することができる。 c：自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするなど、表現の仕方を工夫している。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	レポート 発表

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度
※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。
※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　20　）時間
・書くこと　…　（　50　）時間
・読むこと　…　（　0　）時間